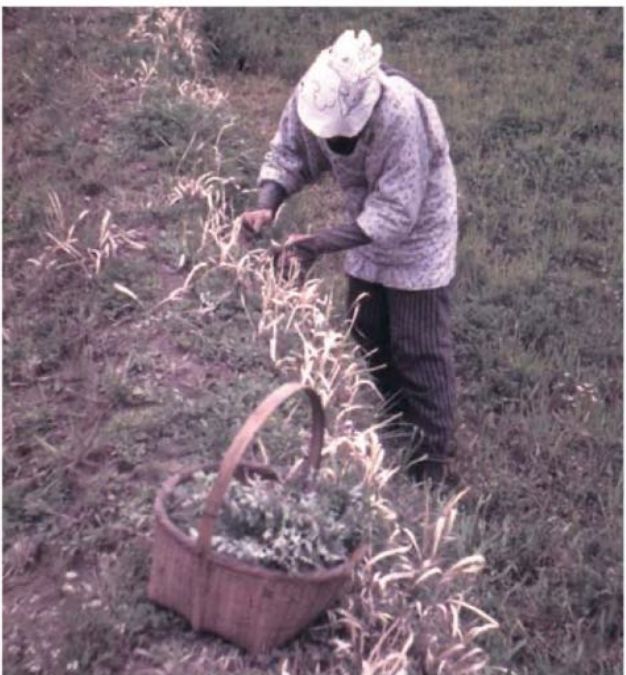


ていねいな暮らしのあつたころ

佐野二彦の撮った伊深の里山



「ヨモギを摘む」(昭和41年4月9日撮影)

「春の摘み草」

春の彼岸から四月半ばごろまで、いろいろな草を摘みました。ツクシやヨモギは田のあぜで、ワラビやゼンマイは山際などに行って摘みました。

右の写真は、ヨモギを刃物を使って摘んでいるところです。ひな祭りのひしもちや、餡あんを包んだ蒸しもち(ブンダコと言う)をヨモギを使って作りました。



「ツクシを摘む子ども」(昭和39年3月撮影)

子どもは、ツクシ採りをしました。左の写真は、友達と一緒にツクシを摘んでいる様子です。手で簡単に採ることができるため、春先の遊びのひとつでした。

ツクシは、田のあぜにいちばんよく生えています。卵とじなどにして食卓にのぼりました。

摘み草の風味は、春のおとずれを感じることできる自然からの恵みでした。